

# 台湾東部地震 4月3日 沖縄全域に13年ぶりの津波警報

## 西表では/周辺地域では



津波か? 西表島で視聴者が撮影

映像提供 視聴者

沖縄気象台は「今後1週間程度は同じ規模の地震に注意し、海底で規模の大きな地震が発生した場合は津波に注意してほしい」と呼びかけています。

撮影した視聴者の消防団員の男性は「避難を呼びかけながら2人で集落を回った。1人が車で待機し、1人が降りて避難を呼びかけた。住民たちが避難したことを確認してから撮影を始め、その後、100メートルほど先の高台に避難した。はじめは気づかなかったがよくみると潮が引いて波があがってきたので津波が来たと脅威を感じた。無事避難ができ、何事もなくてよかった」と話していました。

3日午前、台湾付近を震源とする大きな地震があり、気象庁は沖縄県の八重山地方などに一時、津波警報を発表しました。(※西表島は午前9時30分に3mの津波が到達するという予報)

石垣島では20センチの津波を観測し、およそ30キロ離れた西表島では、視聴者によって津波とみられる映像が捉えられていました。津波とみられる映像が撮影されたのは、西表島の西に位置する干立地区です。午前9時45分ごろから10時ごろにかけて撮影されたという映像では潮が引き始めると、その後、沖から白波を立てて波が押し寄せる様子が確認できます。

we support!

**RQ**  
災害教育センター

MONTHLY

「東北に黒糖を送ろう! 大作戦しんぶん」改め  
復興支援『すけさきた』  
かめらばい

**しんぶん**

「すけさきた」とは宮城県登米市あたりの言葉で「ボランティアに来たよ」という意味である。

## 沖縄ならではの課題と対策 今後一週間に備える



②暑さ対策

備蓄用の水を配布



①交通渋滞

車社会の課題



暑さ対策

扇子 またはうちわ  
飲料水  
消毒用アルコール  
傘



那覇市津波避難ビル  
屋上は海拔15m 2000人を収容可能  
きのうの警報発表時は約850人が避難

### 【暑さ対策】

4月3日は沖縄各地で27℃を超える夏日となり、屋上に避難した人のなかには体調を崩す人もいました。

「津波避難ビル」は各階にエアコンがありますが、大人数で長期にわたり避難が続いた場合、熱中症のリスクは避けられません。

●今回は午前中で警報が解除されたが、東日本大震災の津波警報・注意報は30時間続いた。沖縄は熱中症のリスクが高いため、通常から暑さ対策の品を持ち歩くとよい。おすすめは扇子かうちわ・飲料水・消毒用アルコール・傘のセット。

### 【交通渋滞】

警察の交通規制により、画像の道路では一時期4車線すべてが高台へと向かう一方通行道路となりました。

●渋滞が起これば車でしか移動できない病人や老人に危険が及ぶ。特に都市部や市街地などであれば、無理して高台に向かわず、最寄りの高い建物の上層階に移動する「垂直避難」を選択肢に入れておく。

解説：防災士・稲垣さん(書き起こし及び一部要約は文責による)

文責：井上文字(西表島エコツーリズム協会 東北復興支援担当)

APRIL  
**11**  
2024

